

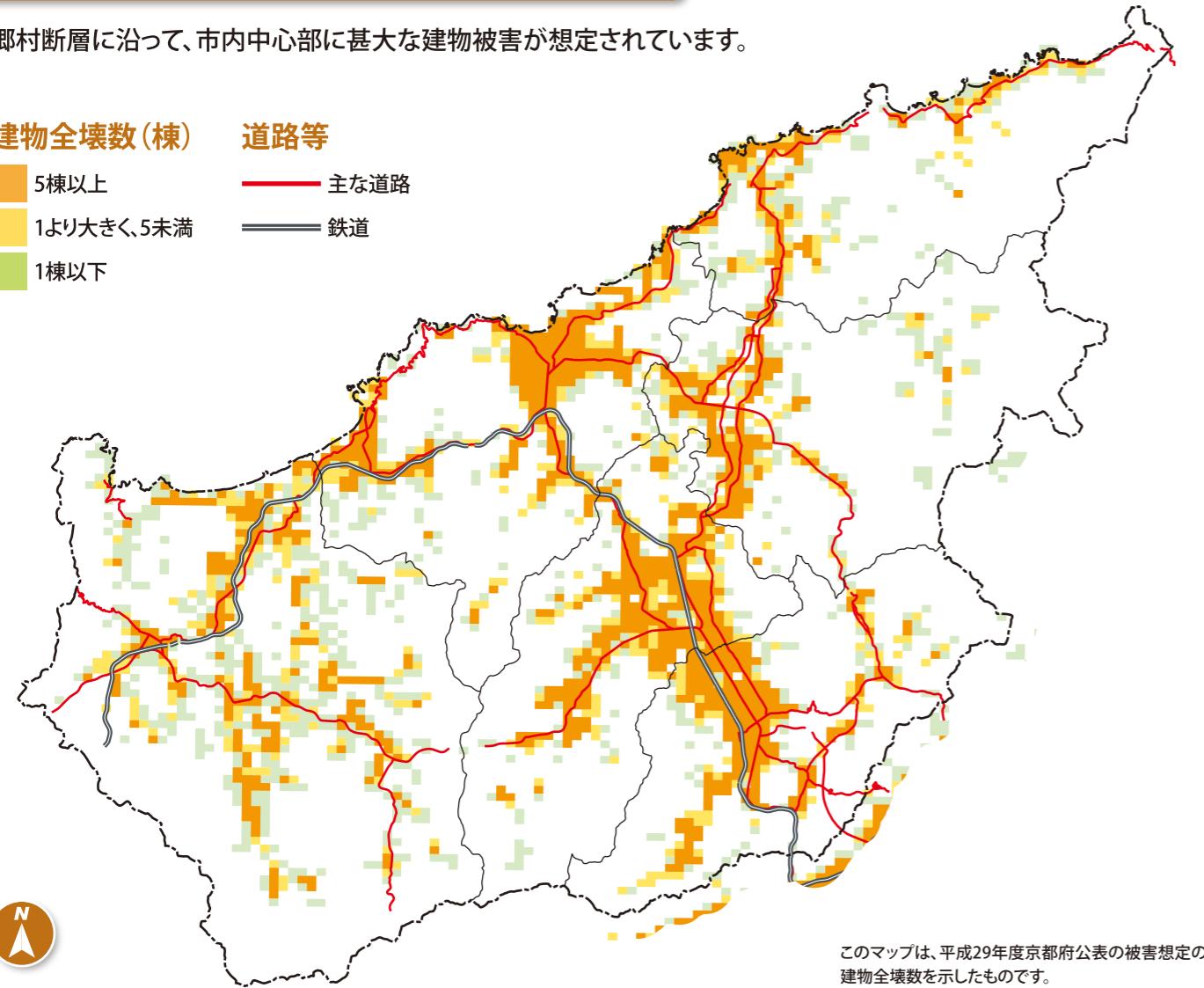
## 地震ハザードマップ 建物全壊数

郷村断層に沿って、市内中心部に甚大な建物被害が想定されています。

### 建物全壊数(棟) 道路等

- 5棟以上
- 1より大きく、5未満
- 1棟以下

- 主な道路
- 鉄道



このマップは、平成29年度京都府公表の被害想定の建物全壊数を示したものです。

想定地震 郷村断層地震

## 地震ハザードマップ 液状化危険度

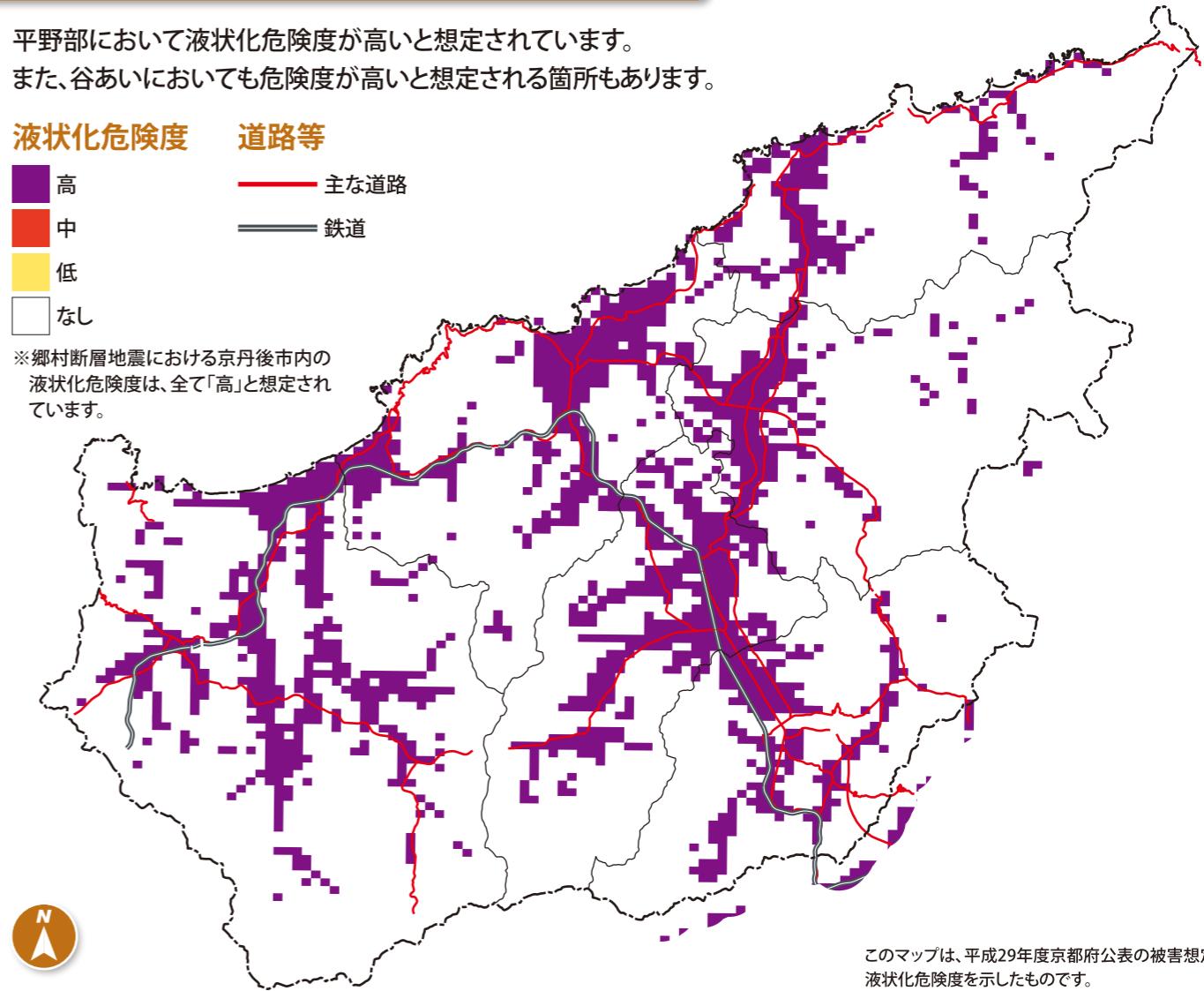
平野部において液状化危険度が高いと想定されています。

また、谷あいにおいても危険度が高いと想定される箇所もあります。

### 液状化危険度 道路等

- 高
- 中
- 低
- なし

※郷村断層地震における京丹後市内の液状化危険度は、全て「高」と想定されています。



このマップは、平成29年度京都府公表の被害想定の液状化危険度を示したものです。

想定地震 郷村断層地震

## ▼京丹後市周辺の断層

### 郷村断層による被害想定

京都府の被害想定では、郷村断層地震は、京丹後市で大きな被害が想定されています。郷村断層は、昭和2年の北丹後地震を引き起こした断層としても知られています。

#### 京丹後市の被害想定

死者数	2,950人	全壊棟数	35,250棟
負傷者数	8,040人	半壊棟数	9,210棟
(うち重症者3,590人)		焼失棟数	7,550棟
要救助者数	3,460人		

平成29年度京都府公表 被害想定

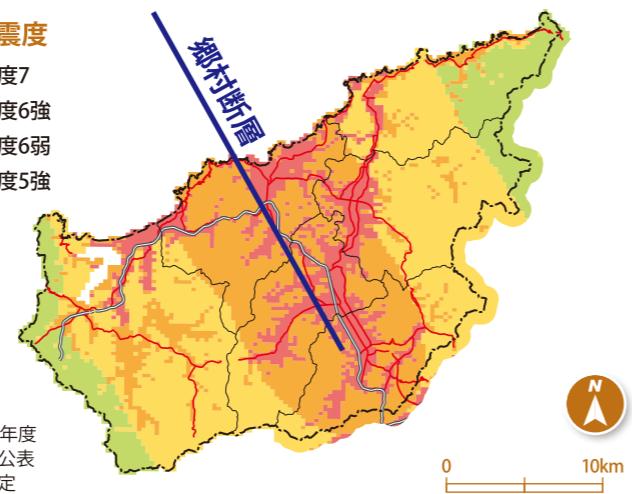
■昭和2年の北丹後地震では、全国で死者数2,925人、負傷者7,806人、全壊1万2,584棟、半壊9,443戸、焼失8,287戸、全焼6,459戸が記録されています。

### 郷村断層

郷村断層は、市内を南北に縦断する形で存在します。最大震度7であり、津波の発生も想定されています。被害想定は左の表を参照ください。

#### 計測震度

- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強



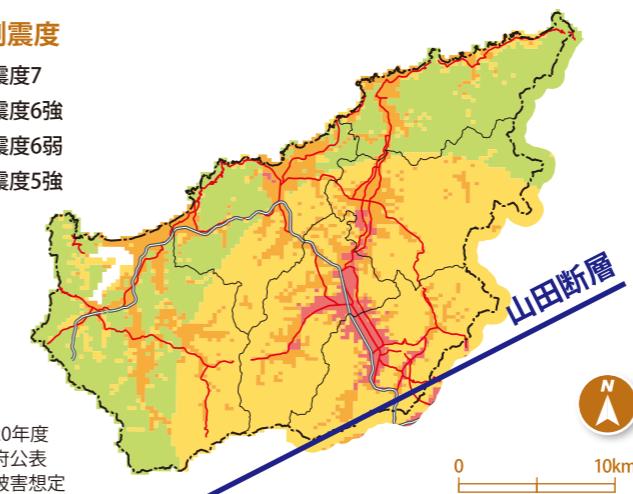
平成29年度  
京都府公表  
被害想定

### 山田断層

山田断層は、市内南部を東西方向に存在します。最大震度7、死者820人、全壊棟数27,120棟、焼失棟数7,600棟と大きな被害が想定されています。液状化も広い範囲で想定されています。

#### 計測震度

- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強

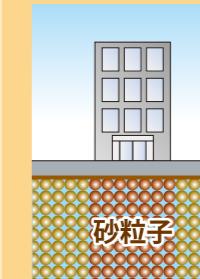


平成20年度  
京都府公表  
地震被害想定

## ▼液状化現象とは

地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などでは、地震の激しい揺れにより、土の粒子が水と混ざり合って一時的に液体のようにやわらかくなります。これを液状化現象といいます。

#### ① 地震前



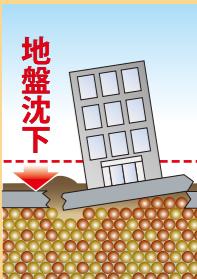
地震前は、砂などの粒がお互いにくつついて、その間に水がある状態です。

#### ② 地震発生



地震により、砂の粒が離れて、水に浮いた状態になります。

#### ③ 地震後



地震後、しばらくすると、バラバラになつた砂の粒が沈んで、地面に水が出てきます。